読書コーナー

ビリギャル
学年ビリのギャルが1年で偏差値を40あげて慶應大学に現役合格した話



著者　坪田　信貴

高校2年生のさやかは、クラス・学年ともに成績が最下位で、担任の先生からは見放されて、もちろん勉強せず友達たちと毎日遊び歩いていました。ある日、通学バックからタバコが見つかり謹慎処分になった時に、母から個別塾の提案がありしぶしぶ塾に入りました。最初はやる気がなかったさやかでしたが、講師の坪田先生の丁寧な指導と塾の仲間たちとの出会いで段々と勉強に前向きになります。入りたては、小学生レベルの学力しかないと判定されていましたが、毎日の勉強の成果で、慶應義塾大学を第一志望にするほどの学力がついてきてきました。そんな時さやかは、母は塾代を稼ぐため朝から晩まで仕事をしていることに気が付き、塾をやめると言い通わなくなったり、父は「慶應大なんて受かるわけがない」と否定したりして、家庭環境は悪くなっていきました。ですが、なんとかまたやる気を取り戻して、諦めずに勉強を続け得意な教科に絞って受験対策をし、偏差値30から1年で40も上げて無事合格できました。

私はこの本を読んで、諦めずに毎日少しずつでも地道に努力すれば目標は達成されると思いました。諦めが悪いと言う人もいると思いますが、続けることは簡単そうに見えて難しいと思います。私は3日坊主と面倒くさがりやが掛け合わされているので、早い時で次の日には止めていることも多いです。入社して約1年半が経ち、日々勉強と覚えなければいけないことがあり、私にとって難しいこともありますが、周りの方の支えのおかげで諦めがちな私も続けられることができました。今までの1年半よりこれからの方が難しいことが多いと思いますが、この本の主人公のように諦めずに食らいついていこうと思います。

（文責:内藤）

将軍の日（中期5カ年経営計画作成セミナー）



『将軍の日』とは

戦国時代、将軍が戦場から離れた陣営で、
戦局を見極め戦略・戦術を立てたように、
経営者が日常業務から離れ電話も来客もない環境で、
将来を見据え経営計画を作るセミナーです。
社長を将軍にみたて、『将軍の日』と命名されました。

【受講料】
55,000円（税込）/名
2名様以降5,500円（税込）

お問い合わせ：めいわ税理士法人
027-361-5568　担当：森平

先行経営Tasseiを行いませんか！

先行経営 Tassei とはズバリ「経営者の描く目標を達成させること！」です。そして目標を達成させるためには「経営計画」が必要です。経営計画を立てても実現しないのは、計画とズレたことを把握したあとの行動が伴っていないから。計画とのズレを毎月見定め、修正行動に移す。この一番実践できない「修正行動」の部分を、実際に行っていくことが出来るのが「先行経営Tassei」なのです。と同時に、経営者の意識や行動が明らかに変化します。

【料金】月額　55,000円（税込）から

編集後記　朝晩の空気に秋の深まりを感じる頃となりました。寒さが増してまいりますので、体調管理に気を配りながら、健やかにお過ごしください。





所長挨拶

紅葉の候、皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

☆金融・商社など10社を超える企業が1千億円を投資して森林の権利を集約し、収益化を目指すとの報道がありました。日本は国土の約3分の2が森林であるにもかかわらず、木材の7割を海外から輸入している世界有数の木材輸入国です。相続税の申告の際、相続財産に何筆もの森林が含まれていることがありますが、維持費用だけでなく固定資産税もかかり処分もままならない、挙句に相続税がかかるとあって、相続人の間では言わば「負の遺産」として取り扱われることも少なくありません。本来、日本の大事な資産として扱われるべき広大な森林がこのような状況にある中で、今回この取り組みが少しでも状況改善に繋がることを念じて止みません。今後の進展を見守りたいと思います。

☆GMOの例を上げるまでもなく、今やサイバー攻撃は世界的な脅威となりました。ひたすら利便性を追求してデジタル一辺倒となった世界に、ある意味警鐘を鳴らされているような気がしないでもありません。キャッシュレス先進国であるスウェーデンが、２０２２年のロシアによるウクライナ侵攻以来大きく方向転換していたとの記事が、先月の朝日新聞のコラム「天声人語」に載っていました。歴史的にロシアの脅威に晒されてきたスウェーデン政府は、ウクライナ侵攻が始まると早々に、ロシアによるサイバー攻撃に備えてキャッシュレスを控え現金を使うように国民に促したというのです。一方、富士フィルムが磁気テープを２０年ぶりに増産するとのニュースも流れています。今やクラウドが主流で、データはネットを介してデータセンターに保存するのが当たり前の世の中になったわけですが、サイバー攻撃に備えネットから遮断して自らのサーバーにデータを保存する動きが復活してきているのが理由だそうです。

☆フランスで教育環境の改善を求めて始まった高校生のデモが大人に波及し、中には略奪を働く不心得者まで現れていますが、このデモがドイツの高校生に飛び火し、兵役廃止や貧困対策など深刻な問題提起を行っています。
日本の若者も様々な問題を抱えてはいますが、こうしたデモに発展するまでには至らず、表向きは繁華街でハロウィンを楽しんでいる様子を見たりすると、正直複雑な思いを持たざるを得ません。取りあえず平和な日本にいて安穏に暮らしているうちに、世の中が望まない方向に変わっていってしまわないように、時には情報を集め自身の考えを整理して発信してゆく必要があるように思います。

いよいよ朝晩の寒さも厳しく感じられるようになりました。皆さまには十分にご自愛頂き、毎日をお元気に過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

Contents

P1　所長挨拶・目次
P2　税務トピックス
P3　職場の教養
P4　読書感想文・将軍の日・編集後記

めいわ税理士法人　～税務TOPICS～

【所得税】青色申告の75万円控除がスタートへ！
2027年分から導入される新要件をチェック！

2027年分の所得税から、青色申告特別控除の最高額が65万円から75万円へ引き上げられます。一方で、これまで55万円控除を受けていた人は、書面申告のままでは控除額が大幅に縮小されます。新制度の内容と、75万円控除を受けるための要件を確認しておきましょう。

2027年分から青色申告特別控除はどう変わる？

2027年分以降は、正規の簿記の原則による記帳を行い、期限内にe-Taxで確定申告書や青色申告決算書を送信すれば、従来どおりに65万円控除を受けられます。さらに一定の電子保存要件を満たす場合は、今回新設された75万円控除を適用できます。
一方、従来の55万円控除は廃止されるため、複式簿記による記帳を行っていても書面申告の場合は10万円控除へ引き下げられます。

適用要件 ＼ 控除額	複式簿記（正規の簿記の原則で記帳）	貸借対照表と損益計算書を添付	期限内申告（注1）	e-Tax（電子申告）	優良な電子帳簿保存 又は デジタルシームレス保存
75 万円	○	○	○	○	○
65 万円	○	○	○	○	―
10 万円	（簡易な記帳でも可）（注2）	―（注3）	―	―	―

（注1）　還付申告の場合も確定申告期限までに提出が必要です。
（注2）　簡易な記帳の方のうち、事業所得又は不動産所得（事業として行われていない場合を除く。）を有し、これらの所得のいずれかに係る前々年分の収入金額が 1,000 万円を超える場合には、10 万円の青色申告特別控除は適用されません。
（注3）　損益計算書の提出は必要です。

（引用）国税庁『優良な電子帳簿の保存又はデジタルシームレス保存により75万円の青色申告特別控除を適用しましょう！』

75万円控除の電子保存要件とは？

75万円控除を受けるには、65万円控除の要件に加え、「優良な電子帳簿の保存」または「デジタルシームレス保存」のいずれかへの対応が必要です。
優良な電子帳簿とは、仕訳帳や総勘定元帳について、訂正・削除の履歴や帳簿間の関連性を確認でき、日付・金額・取引先などによる検索ができる状態で電子保存する方法です。
一方、デジタルシームレス保存では、一定の基準に適合したシステムを利用し、デジタルインボイスまたは預貯金口座の決済データを、改ざん防止や帳簿との関連性を確保しながら保存します。
なお、75万円控除を適用する場合には、適用を受ける年分の確定申告期限までに届出書の提出も必要です。

優良な電子帳簿によって75万円控除を受ける場合は、年初から要件を満たした帳簿の備付け・保存が必要です。
2027年分から75万円控除を受ける場合には、会計ソフトや保存方法を確認し、2026年中に準備を整えておきましょう。

朝礼にて ～職場の教養～

毎日の朝礼で、一般社団法人倫理研究所の「職場の教養」を輪読し、感想を述べています。その感想で、良かったものを紹介致します。

9/28(月)　備えで築く信頼

業務を円滑に進めるには、起こり得る問題を想定し、備えることが重要です。十分な準備は不測の事態への対応力を高め、組織の安定運営にもつながります。

しかし、どれほど備えを重ねても、予期せぬトラブルを完全に防ぐことはできません。日頃から迅速かつ適切な対応が取れる体制を整えることが大切です。

実際にトラブルが発生した際は、状況を悲観することなく冷静に受け止め、まず現状を正確に把握しましょう。一人での解決が難しい場合には。上司や同僚の協力を仰ぎながら、速やかに対応策を講じることが大切です。

また、解決して終わりにするのではなく、その発生原因や対応の過程を振り返り、改善点を明確にすることが、同様の問題の再発防止につながります。

さらに、その知見をマニュアルや手順として共有し、組織全体の財産として蓄積することで、組織としての備えはより確かなものとなるでしょう。

今日の心がけ　備えと共有で組織力を高めましょう

今日は、備えと共有の重要性についてのお話でした。

人は予期せぬトラブルに直面すると、冷静さを失い、一人で解決しようとしてしまいがちです。しかし、一人で抱え込んでしまった結果、問題がさらに深刻化し、自分だけではどうにもならないところまで発展してしまう可能性もあります。そのため、早い段階で周囲に相談し、他の人の力を借りることが大切だと感じました。

私自身も、過去に「もっと早く相談しておけばよかった」と感じたことが何度もあります。そのため、何か問題が起きたときには、まず自分で考えることも大切ですが、「誰かに相談する」ということも選択肢の一つとして考えるようにしています。

一方で、誰かに頼ることには少しハードルを感じることもあります。だからこそ、何かあった時に相談しやすい環境をつくるためにも人間関係を大切にし、困ったときにお互いに助け合えるようにしていきたいと思いました。

（文責：新井）

